

研 修 (研 究) 報 告 書

平成 31 年 4 月 31 日

玉名市議会  
議 長 中尾 嘉男 様

氏 名 吉田真樹子

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	吉田真樹子		
日 時	平成 31 年 3 月 27 日 (水) ~ 平成 31 年 3 月 27 日 (水) 午前・ <del>午後</del> 1 時 00 分 ~ 午前・ <del>午後</del> 4 時 30 分		
場 所	柳川市上官永町	参加者数	60名
研修(研究)事項	「子育ての始まりに知っておきたいこと」 「赤ちゃん発達、パパの大切さ、母乳育児と発達の関係」		
概要及び所見	別紙のとおり。		

## 別紙

柳川市弥四郎町のめぐみ助産院、寺田恵子先生 主催の『子育て応援セミナー』へ参加して参りました。

参加者は大人 50 名程に赤ちゃん、子ども 10 名程でとても活気があり興味深かったです。

参加者は、助産師、看護師、保育士、子育てママ他 託児の方数名。

講師は、藤牧経乗氏。

頭蓋仙骨療法家（とうがいせんこつりょうほうか）であり発達訓練の専門家。

講演は、「子育てのはじまりに知っておきたいこと」「赤ちゃんの発達、ハイハイの大切さ、母乳育児と発達の関係」という内容で進められました。

生物の進化、体内での赤ちゃん、誕生後の赤ちゃんも、個体発生は系統発生を繰り返すと説明。つまり、

魚類⇒両生類⇒爬虫類⇒哺乳類と進化と成長の過程は同じ。

誕生後の赤ちゃんもゆっくりと自然な流れでの段階はとても必要なことなので 早く立った、早く歩いたなどは、いいことではけしてないというお話をされました。

体内で赤ちゃんは、32 日目で魚類（米粒大）34 日目で両生類、36 日目で爬虫類、38 日目で哺乳類、70 日目で人となるそうです。

また、母乳を吸うことは骨格を整える。

左右の母乳を飲むことで骨格のバランスが取れる。

うつ伏せはいいが、うつ伏せ寝は窒息死の危険性があるなでいけない。

などの話がありました。

キーワードは、

\*ヒトは、環境の動物である。

\*人は、直立歩行するまで約一年＝その間の運動が脳をそだてる。

\*乳幼児期は人生の礎を作る最も必要な時期。

と、いう貴重なお話を聞かせて頂きました。

最後に、みんなでトレーニング室に移動をして、赤ちゃんのようにハイハイ（四足歩行）をして足で床をしっかり蹴ることを確認して終了となりました。

このような話を玉名市で子育てをされる全ての方に聞いてほしいと感じました。

子育て支援課に提案してみます。

2019  
3/27  
(水曜日)

# 子育て応援セミナー!

in 柳川



新しい命を授かり、喜びの中で始めた子育ては毎日が悩みの連続。  
親の考える良い子に育つことよりも、個性が輝いて欲しいと誰もが願っている  
ことでしょう。講師である藤牧先生は、発達に課題のある子ども達への頭蓋仙骨  
療法と発達支援プログラムを通して得られた子ども達からのメッセージを、  
これからの子育てに生かすためのヒントに換えて教授して下さいます。  
初めての柳川での講演会、子育て中のママから、ママの子育てを応援したい  
と考えている皆様方、沢山のご参加をお待ちしております。

## 1 部

13:00~14:30 (開場12:30)

子育て支援に関わる方と  
乳幼児を育てる全てのママ達へ  
~子育てのはじまりに  
知っておきたいこと~

内容: 赤ちゃんの発達、ハイハイの大切な  
母乳育児と発達の関係など

## 2 部

15:00~16:30 (開場14:30)

子どもの成長が  
少し気になると感じる時  
子育て支援者と子育て中の全てのママ達へ  
~子どもの自然な発達を  
知りつつ支援するとは~

内容: ヒトはどのように発達をするのか、  
発達の中での置き忘れた課題と  
日常生活への影響など

**場所** 水の郷 視聴覚室 (柳川市上官永町6番地3)  
※無料駐車場はありますが、台数には限り  
がありますので時間に余裕をもってお越し  
ください。

**対象** 妊娠中の方、子育て中の方、子育て支援者  
もしくは支援に関わる方

**参加費** 1部、2部共に各2000円  
(両方参加の場合500円引き)  
赤ちゃん連れの方は各1500円  
※お支払いは事前振込制です。  
お申込みの方にお振込み先をご案内します。  
(キャンセル料あり)

**持ち物** 赤ちゃん連れの方はバスタオル1枚



講師  
藤牧経乗氏

たなこころ\* C・S・T子ども機能発達センター  
(Tanacocolo Center for CranioSacral  
Therapy.) 代表。  
“子どもたちは、もっとできることがある”を  
モットーに活動。CranioSacral Therapyの  
技術研鑽のために毎年渡米し、常に新しい技術  
と情報収集を行い、後進育成にも取り組んでいる。

### お申込み・お問い合わせ

<https://www.kokuchpro.com/event/kosodate0327/>

□内容に関するお問い合わせ: bsdayo4@icloud.com

□お申込みに関するお問い合わせ: hadashinoie@yahoo.co.jp 090-9075-0785 (大森)



主催: 母乳育児なんでも相談室 めぐみ助産院 寺田恵子 協賛: **クローレ工業株式会社**

頭蓋仙骨療法と発達支援プログラムを通して得られた子ども達からのメッセージを、これからの子育てに生かすためのヒント  
に換えて教授していただきます




先進地（現地）調査報告書

平成 <sup>30</sup>年 <sup>8</sup>月 <sup>30</sup>日

玉名市議会  
議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田真樹子 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田 啓二、北本 将幸、吉田 寛司、吉田 真樹子
日時	平成 30 年 8 月 2 日（木）～平成 30 年 8 月 2 日（木） 午前 <del>午後</del> 1 時 00 分 ～ 午前 <del>午後</del> 3 時 00 分
調査先	鹿児島県出水市
調査事項	フルマラソンの企画・運営について
調査先面会者	出水市産業振興部 シティセールス課 課長  スポーツ交流係長  主査 
概要及び所見	別紙のとおり。

## 別紙

大河ドラマ「いだてん」での盛り上がりののち一過性で終わらないよう玉名市でフルマラソンをやりますと市長が言われましたので鹿児島県出水市へ行って参りました。

出水市は、人口 52,000 人。鶴で有名なので「出水ツルマラソン大会」というネーミングで今年 30 回目の開催の予定でした。

昭和 62 年の開催時は 20km、10km、5 km コースに 475 名の参加者数から現在では、フルマラソンが追加され 10km、3 km と距離数を変更し 33,000 名以上の参加があつているそうです。

参加費は 4,500 円。前日には 3,000 円で前夜祭に参加することも出来るそうです。

通常の都市型のマラソン大会では参加費が 10,000 円ほどするので 4,500 円の参加費はリーズナブルで参加しやすいと感じました。

玉名市でもイチゴマラソン大会が開催されており価格は出水市よりも安くお土産あり（イチゴ 2 パック、焼きのり）で 4,000 円お土産なしで 3,000 円。

出水市にも新幹線の出水駅があり玉名市と似た環境でもありますのでフルマラソンをこれから取り入れる玉名市にとっては、とても参考になりました。


参加費がリーズナブルであつて参加者が整つたことで満足せず、やはり多くの人が集まることでの経済効果も考えていかなければと考えます。

この視察研修で会派議員 4 名フルマラソン大会をもっと知るため大会エントリーをしますと、お世話になりました出水市担当職員さんに約束し研修を終えました。





先進地（現地）調査報告書

平成 30 年 8 月 30 日

玉名市議会  
議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 真樹子 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	畑田 隈 啓二・北本 将幸・吉田 憲司・吉田 真樹子
日 時	平成 30 年 8 月 3 日（金）～平成 30 年 8 月 3 日（金） 午前・午後 10 時 00 分 ～ 午前・午後 12 時 00 分
調査先	鹿児島県指宿市
調査事項	フルマソン 企画・運営について
調査先面会者	指宿市観光課 観光統括係  主事  指宿市観光協会 事業部長  
概要及び所見	別紙のとおり。

## 別紙

大河ドラマ「いだてん」の盛り上がりが一過性に終わらないためフルマラソンをやります。  
と、市長が言われましたので鹿児島県指宿市へ視察研修に行つて参りました。

指宿市は人口40,000人。

今年で37回目の「いぶすき菜の花マラソン大会」の研修に行かせて頂きました。

新幹線の終点 鹿児島中央駅から JR 指宿枕崎駅まで1時間30分かけて鹿児島の端まで JR に揺られ行きました。

こちらでは、フルマラソンのみで参加者、13,000人を超える大人気の大会でした。

新幹線から乗り換え、ながい時間の電車での移動は大変さも感じました。

車での参加も多いそうで駐車場確保には大変されているようでした。

マラソン大会に参加したことのない私には驚きの内容ばかりでした。

大会事務局は、指宿市観光協会が担当。運営は指宿陸上競技会。事業費は1億円。

参加費は7,000円。

近年のマラソンブームで参加者が減少してきていることと、ボランティア確保が難しいと言われておりました。

また、「西郷どん」ドラマ館が指宿市にあると聞き行つて参りました。

立派な博物館でされており、資料展が内容盛りだくさんで充実していて満足するものでした。

先進地（現地）調査報告書

平成 30 年 10 月 30 日

玉名市議会  
議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 真樹子

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	加隈啓二、北本将幸、吉田寛司、吉田真樹子
日時	平成 30 年 10 月 16 日（火）～平成 30 年 10 月 16 日（火） 午前・午後 2 時 00 分 ～ 午前・午後 4 時 00 分
調査先	滋賀県 野洲市
調査事項	消費 <del>者</del> 者行政、生活 <del>者</del> 困窮者対策等について
調査先面会者	野洲市 市民生活相談課長 [redacted] 総務部納税推進課 課長 [redacted] 主事 [redacted]
概要及び所見	別紙のとおり。



困窮者支援で実績を出されているので行政視察がとても多い滋賀県野洲市へ行かせて頂きました。

人口50877人の玉名市より16,000人程少ない市。

「くらし支えあい条例」を制定されています。これらの事業内容や、条例の果たす役割などの研修に行つて参りました。

野洲市では、地域性や基本的な考えとして近江商人の考え、売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」精神で行政運営をされていました。

「くらし支えあい条例」の中では、事業者(売り手)よし、消費者(買い手)よし、地域(世間)よしとして考えられていました。

消費者トラブルをはじめとする市民の暮らしに関わる様々な問題の多くは、貧困、介護、障害、家庭問題、孤独などがある。消費者トラブルの解決のみならず、生活困窮者を支援し、安心して市民が支えあう暮らしの実現を目的とされている。

野洲市の就労支援事業では、就職決定者数の29年度実績は92名と言われておりました。玉名市は、4年間で86名。単年度だと21名です。

滋賀県認定産業団地である工業団地が2箇所もあり働く場に大きく違いはありますが、ハローワークとの連携だけでなく就労支援について市役所内でもっと連携できる部署はないか検討するなど必要なことと考えます。

玉名市でも、多くの支援が必要な方に就職してもらえばその家族に安心を与えられ、生活がよくなる。

地域性やニーズに合ったオリジナルルールを検討することも提案したい

先進地（現地）調査報告書



平成 <sup>30</sup>年 <sup>10</sup>月 <sup>30</sup>日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 真樹子 

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	久田隈啓二、北本将幸、吉田憲司、吉田真樹子
日時	平成30年10月17日(水)～平成30年10月17日(水) <del>午前</del> ・午後10時30分～午前・ <del>午後</del> 12時00分
調査先	兵庫県明石市
調査事項	公共施設、市街地活性化事業について
調査先面会者	(元)明石市都市整備部長 (現)ハピコ明石管理組合 代表者  明石市市民生活局あかし総合窓口課長 
概要及び所見	別紙のとおり。

兵庫県明石市へ視察研修に行かせて頂きました。

人口290,000人の大都市でした。

明石市は、市長交代から5年連続で人口増。赤ちゃんの出生数も3年連続増。

関西の住みたいランキングでもメキメキと上昇していました。

JR明石駅前の開発事業では、駅前の店舗を解体し新たな公共施設に集約。隣には34階建てのタワーマンションの建設を誘導し216戸を販売開始から4時間で完売するなど、思いつきとスピード感のある動きに驚きでした。

民間と公共とで開発された駅前の施設は、「こども」「やさしい」「本」をコンセプトに作られておりました。

6階建てで、6階は市の総合窓口。5階は、子育て支援センター、一時保育ルーム、中高年交流施設親子交流スペース。4階は、市の図書館。1階から3階は、民間の書店、美容室、医療機関、飲食店などが入っていました。

とても最新施設で賑やかでお洒落な空間でした。

が、しかし、財政を抑制するため各種団体への補助金の見直し、公共事業の抑制、職員の給料カットなどの表には見えないこれでよかったのだろうかと思えるところもあるのも事実であります。

玉名市は、規模は小さくとも新幹線駅があり、在来線駅もあるので明石市を参考に新玉名駅前開発事業も考えていかなければと思います。